



生徒一人一人のよさを見極め、称賛し、夢と希望を育む学校

# 南中だより 3月号

羽生市立南中学校

令和8年 2月27日発行

## 「友だちを大切にする」「自分を大切にする」

校長 堀越 成夫

学校の「しだれ梅」もほころび始めました。早いもので、令和7年度も3月を残すのみとなりました。3月は、学校最大のイベントともいえる「卒業証書授与式」、令和7年度の締めくくりとなる「修了式」が行われます。

このように締めくくりを迎えるにあたり、「言葉」について考えてみましょう。

作家の三浦綾子さんは、著書「小さな一歩」からの中で「言葉は力である、と私は思う。一言がその命を奪うこともあれば、受けた人の人生を変えることもある。〈中略〉言葉というものは理不尽なほどに人間を動揺させ墮落させ、非常に走らせるかと思うと、奇跡の余殃によみがえらせ、向上させ、意欲を与えるものである。」

私たちが発する言葉が大きな力を持つことを述べています。

近年は、メールやSNSをはじめとする通信技術の発達により、多種多様なコミュニケーションの手段が生まれました。離れた場所にいる人に対しても、手軽に言葉を伝えることができるようになり、格段に便利になっています。

それだけに、一方では顔と顔を合わせて言葉を交わす時と同様に「伝える言葉に真心を込めること」「発せられた言葉から相手の心情を推し量ろうとすること」の大切さは、変わらず心に留めておかなければなりません。

『ことば』というものは、使い方によって、その人の人格が現れるばかりでなく、自分が使っている『ことば』によって自分自身が影響される」「人は『ことば』によって作られていくもの」と、内藤宏さんは言っています。

「仲のよさから発していると思われる言葉遣いが、実は親しみから礼儀を失った単なるなれなれしい状態になっていることがあります。それは、人間関係を壊していくもとになっている。」とも述べています。

人は自分の気持ちや思いやりを他人に伝えるとき、「ことば」を使います。

「ことば」は人間関係を創り出す大切な道具でもあるわけです。言葉遣いを丁寧にするということは、「友だちを大切にする」ということでもあり、「自分を大切にする」ということでもあると思います。あなたなら、「できる」。



日	曜日	予 定	日	曜日	予 定
1	日		20	金	春分の日
2	月	特別日課 (5時間)	21	土	
3	火	特別日課 (5時間) 公立高校追検査	22	日	
4	水	登校指導日 卒業式練習 (1・2年) ⑥	23	月	学年末特別日課 (5時間) 球技大会 (2年) 給食終了
5	木	卒業式予行①～③	24	火	学年末特別日課 (4時間) 球技大会 (1年)
6	金	公立高校発表			
7	土		25	水	学年末特別日課 (4時間) 大掃除
8	日		26	木	修了式 (部活動中止)
9	月	3年生を送る会⑤⑥ 給食終了 (3年)	27	金	学年末休業日 (3月31日まで)
			28	土	
10	火		29	日	
11	水		30	月	
12	木	卒業証書授与式準備 (部活動中止)	31	火	
13	金	卒業証書授与式	1	水	春季休業日 (4月7日まで)
14	土		2	木	
15	日		3	金	
16	月		4	土	
17	火		5	日	
18	水	地域学校保健委員会 (2年) ⑥	6	月	
19	木	学年末PTA	7	火	準備登校 (新2・3年)

自己啓発の日：5日、13日、19日、25日